

まなべ ひろし 真鍋 博 (1932~2000)



イラストレーター。アニメーター。エッセイスト。宇摩郡別子山村(現、新居浜市)に生まれ、3歳のとき父の住友金属鉱山入社に伴い新居郡中萩村(現、新居浜市)に転居。県立新居浜西高等学校を経て、昭和29(1954)年、多摩美術大学を優秀な成績で卒業した。

大学在学中より、二紀会展や読売アンデパンダン展に出品し、卒業後には池田満寿夫、堀内康司らと昭和30(1955)年に結成したグループ「実在者」での個展で、社会風刺の強い作風の油彩を精力的に発表した。また、並行して漫画集、書籍の装丁、アニメーション、舞台美術など新たなジャンルにも挑戦した。種々の表現手段を経験した結果、「絵」を通して社会との繋がりを持ちたいとの確信を得て、社会と密着した印刷媒体を自身の表現として選んだ。昭和35(1960)年、朝日ジャーナル連載の空想科学小説『第七地下壕』の挿絵で、第1回講談社さしえ賞を受賞し、これを契機に1960年代にブームとなったSFやミステリー、「未来画」に欠かせないイラストレーターとなった。また、日本万国博覧会や沖縄国際海洋博覧会、科学万博つくば'85などにも参画した。

科学小説『第七地下壕』の挿絵で、第1回講談社さしえ賞を受賞し、これを契機に1960年代にブームとなったSFやミステリー、「未来画」に欠かせないイラストレーターとなった。また、日本万国博覧会や沖縄国際海洋博覧会、科学万博つくば'85などにも参画した。

略歴

昭和7(1932)年7月3日	宇摩郡別子山村で生まれ、3歳から新居浜市に育つ。
昭和26(1951)年	県立新居浜西高等学校卒業
昭和27(1952)年	第6回二紀会展に初出品
昭和29(1954)年	多摩美術大学絵画科卒業
昭和30(1955)年	池田満寿夫らとグループ「実在者」を結成
昭和35(1960)年	朝日ジャーナル連載「第七地下壕」で第1回講談社さしえ賞を受賞
昭和36(1961)年	久里洋二、柳原良平と「アニメーション三人の会」を結成、草月アートセンターで発表会
昭和39(1964)年	ニューヨーク世界博日本館にイラスト壁画を制作
昭和45(1970)年	日本万国博覧会三菱未来館の起案に、星新一、福島正美と参加。万博開催記念たばこのパッケージデザインやガイドマップを手がける。 沖縄国際海洋博覧会テーマ委員となる。
昭和50(1975)年	作品集『真鍋博Original 1975』を講談社より刊行
昭和58(1983)年	テレビ愛知のロビーの壁画。科学万博三菱未来館の起案に参加 星新一との共著で『真鍋博のプラネタリウム』刊行
昭和60(1985)年	科学万博つくば'85プランニングスタッフを務める。
平成2(1990)年	アガサ・クリスティーシリーズ全85冊のカバーイラストを納めた小冊子を作る。
平成3(1991)年	筒井康隆の朝日新聞連載小説「朝のガスパール」全161回の挿絵担当
平成11(1999)年	愛媛県教育文化賞受賞
平成12(2000)年10月31日	東京都新宿区の病院において、がん性リンパ管症のため68歳で永眠

(写真提供：愛媛県立図書館)

〈関連図書〉

- ・『えひめ人 その風土』 愛媛放送株式会社 1986年
- ・愛媛県美術館編『真鍋博回顧展 イマジネーションの散歩道』 愛媛県美術館 2001年
- ・愛媛県美術館編『真鍋博作品目録』 愛媛県美術館 2004年

〈主な収蔵資料〉…(P217, 96)

〈ゆかりのある場所〉…(P295, 127)

〈関連施設〉…愛媛県美術館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内 TEL: 089-932-0010

愛媛県立図書館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内 TEL: 089-941-1441